

「外国につながる子どもたちや保護者との コミュニケーションについて考える」 ～ あなたもできる！ やさしい日本語でのコミュニケーション ～

講師：筒井 美幸 さん
(公益財団法人三重県国際交流財団 MIEF)

人権保育専門講座5は、「外国につながる子どもたちや保護者とのコミュニケーションについて考える」と題して、公益財団法人三重県国際交流財団(MIEF)の筒井美幸さんからご講演をいただきました。松阪、志摩、名張の3会場で47名の方に参加をいただきました。



ご講演の中では、三重県内の外国の方の在留状況や、ドミニカ共和国での保育経験をお話いただきました。「やさしい日本語を作ってみよう！」では、『やさしい日本語』に言い換えるときの留意点を分かりやすく丁寧に教えていただき、保護者へ配布するお便りの文章を実際に『やさしい日本語』に書き換えてみる活動をしたりして、実践交流を深めました。

筒井さんのパワーポイント資料より

三重県内の外国人住民

外国人住民数の推移 (三重県多文化共生課HPより)

	H23年末	H24年末	H25年末
三重県	45,547人	41,811人	41,221人

国籍別

ブラジル	15,232人	12,674人	12,002人
中国	9,553人	9,354人	9,015人
フィリピン	5,375人	5,289人	5,646人
韓国又は朝鮮	5,584人	5,360人	5,195人

三重県内の外国人住民

外国人住民数の推移 (法務省在留外国人統計より)

	H23年末	H24年末	H25年末
外国人住民数	49,087人	45,547人	41,811人
永住者数	14,746人	15,730人	16,435人
0～14歳	6,229人	5,946人	5,762人
60歳以上	3,006人	2,956人	3,023人

※ 外国人住民数は減少しているが、永住者数は増加
※ 外国人住民数は減少しているが、高齢者数は減少していない

三重県内の外国人住民

日本での生活に多くの課題を抱えている

～外国人住民が抱えている3つの壁～

制度の壁

ことばの壁

こころの壁

三重県内の外国人住民

なぜ日本で暮らすことにしたのか

- ★ 毎日の暮らしが安全・安心
- ★ 質の高い教育
- ★ 整備された社会システム

高い評価



満足

子どもが日本で生まれ育ったから

筒井さんの講演シジメより

□ 外国の保育事情を知る

- 子どもたちには、日常生活に2つの文化・習慣が交じり合っている
(特に、母親が外国籍の場合、母国の習慣等が取り入れられることが多い)
- 外国の保育事情・子育てについて
ドミニカ共和国(青年海外協力隊員として保育園で3年間活動した経験より)

東部慈善福祉団体：オガール デル ニーニョ

働く親のために子どもを預かる施設(6:30~18:00くらいまで)

第一印象：清潔できれいな園、子どもたちは行儀良くしつけが行き届いている

- 登園後、着替え⇒朝食⇒部屋の中にいる⇒昼食⇒お昼寝⇒おやつ、の繰り返し
- 子どもの世話をしているのは小学生くらいの子もかおとな(読み書きできる人は少なかった)
- 背の順でクラス分け
- 生後1ヶ月~10歳くらいまでの子どもがいたが名簿はなかった
⇒名前、住所がはっきりしない子どもが多数いた
⇒緊急連絡先の確認のため、職場、子どもの名前、住所を確認し名簿を作成
⇒スペイン語が書けたことで一定の評価が得られた(信頼)



保育士や幼稚園教諭の資格そのものがないため、子どもの世話をする人が、自分が育てられたように子どもに接していた(教育的配慮の欠如)

- 経営者に確認 ⇒子どもを預かるだけでいいのか、教育的配慮が必要か
経営者“せめて名前が書けるようにしてほしい”
- 保育士(教師)の雇用：【条件】高校を卒業し子どもが好きであること

- 保育士（教師）の役割：数字や文字を教えるなど教育的な指導をする人
子どもの世話（しつけ的な部分）はお世話をする人がいる
- 保育士（教師）への指導：年間行事に沿ったカリキュラム作成（静・動のバランス）、
お絵かき、切り紙、粘土、うた、砂場、園庭の活用など
伝えたくても伝えきれないもどかしさ、、受け入れなければならない現実

ドミニカ共和国の社会

- 基盤となる産業が少ない（製糖、観光くらいしかない）
- 人材の流出（チャンスを探求めて可能性のある国へ）
- さんご礁でできた大地（農作物には不向き）
- 富裕層と貧困層の格差が大きい
- 公的支援が少ない（年金、保険、医療、教育、インフラなど）
- 教育の機会が全ての子どもに保障されているわけではない
- 幼児教育は確立されていなかった（平成7年の時点で）

参考資料：外国人支援のための母子保健資料（三重県立看護大学地域交流センター）
～ ブラジル・中国・フィリピンの育児、保健・医療について ～

▽ 通訳・翻訳の難しさ

- 全ての言語に対応できない
- (専門)用語の理解が個人により異なる
- 日本の制度に対する理解が必要
- 日本語のあいまいな表現、擬態語・擬音語は母語に置き換えられない
- ことばを伝えるだけでなく、相手側の文化的な背景を知らないと伝わらない
- 日本語が話せる≠通訳・翻訳できる

□ やさしい日本語

やさしい日本語のメリット

- ✿外国人だけでなく、誰にもわかりやすくなる
- ✿通訳・翻訳しやすくなる！ ⇒伝えたいことが伝わりやすくなる
- ✿国籍、言語におびえなくなる！
- ✿保護者と直接話ができるようになる！ ⇒双方が聞こうと努力することでコミュニケーション力があがる



最後に、、、

- @ 日本の保育はすばらしい！保護者や子どもに自信をもって接する
- @ 間違いを認める（おおらかになる）
- @ 外国につながる子どもたちが自信を持てるように...
- @ 意見交換、情報交換できる場を持つ／作る

“笑顔が心をつなぐ” ⇒ 今していることを“笑顔で続ける”



ドミニカ共和国の写真

～青年海外協力隊員として保育園で3年間活動から（筒井さん）～



保育園に通う子どものお兄ちゃんたちが、観光客相手に歌ったり踊ったりしている。観光客は、子どもたちにチップを渡す。そのチップが、その日の食料につながっている。

気温が高いドミニカでは、滑り台をすべるとお尻が熱い。夕方からしか使えなかった。



「絵本を読みます」と言うと、サッと座る子どもたち。普段は、とても元気で手に負えないほどの子どももサッと座る。



卒園式の様子。貧しい家庭の子どもは、小学校を卒業することはほとんどない。子ども達が成長の喜びを感じられるように、保育園で卒園式を行うこととなった。



「やさしい日本語」講座 資料より

やさしい日本語を作ってみよう！

《文例 1》

猛暑といわれた今年の夏も、夕日が沈む頃には心地よい風が吹き、秋の訪れを感じさせてくれます。

《「やさしい日本語」文例》

ことしの なつは とても あつかったですね。 でも、よるは かぜが ずずしく なりました。 あき ですね。

《文例 2》

日中は汗をいっぱいかきながらもプール遊び・砂遊び・せみ取りと、夏ならではの遊びを楽しく過ごしているお子様たち。園庭では『きゃーきゃー』と楽しい笑い声や、せみをつかまえても逃がしてあげる微笑ましい光景がみられます。

《「やさしい日本語」文例》

子どもたちは げんきに プール、すなあそび、せみとりを しています。とても たのしく あそんでいます。ひとりの こどもは せみを つかまえました が にがしてあげました。 やさしいですね。

《文例 3》

「いただきます」には“食べ物となった動植物の命を、私の命にさせていただきます”という意味があり、自然の恵みに感謝する気持ちが込められています。

「ごちそうさま」には、食材を作ってくれた人や、集めてくれた人、食事を作ってくれた人への感謝のあいさつです。

《「やさしい日本語」文例》

「いただきます」は、どうぶつや やさいを たべる、しぜんの いのちを たべることに かんしゃする ことばです。

「ごちそうさま」は、どうぶつを とってくれたひと、やさいを つくってくれたひと、ごはんを つくってくれたひとに かんしゃする ことばです。

《文例 4》

尿検査は、腎臓病・糖尿病を早く見つけるための大切な検査です。下記の方法で採尿し、学校へ提出してください。

- 1) 検査当日は、朝起きてすぐの尿を取ってください。その際、少し排尿し途中から尿カップへ採尿してください。
- 2) カップに入った尿をスポイト式に吸い上げて、容器底から 2 cm以上入れてください。ただし、このとき検査機器にエラーが出るため、ふたに尿がつくまで入れないでく

ださい。

《「やさしい日本語」文例》

じんぞうびょう・とうにょうびょうをみつけるために おしっこのけんさを します。たいせつな けんさなので かならず うけてください。

- 1) けんさするひの あさ、おきて すぐのおしっこを とってください。
- 2) はじめ、カップに おしっこを とります。つぎに、カップのおしっこを ようきに いれます。ようきに いれるときは、スポイトでいれます。ようきのそこから 2cmいじょう いれてください。ただし、ふたに おしっこがつかないように してください。

《文例5》

5月15日（火）に、ぎょう虫検査のピンテープを配布いたします。提出日は、5月22日（火）です。朝起きてすぐ、排尿・排便の前に行うようにしてください。提出日は厳守して頂くよう、よろしくお願い申し上げます。（提出されないと、プールに入れなくなります。）

《「やさしい日本語」文例》

5がつ15にち（かようび）、ぎょうちゅうけんさ（おなかに むしがいるか いないか しらべるけんさ）の テープを わたします。プールに はいれるかどうか しらべるための けんさです。かならず うけてください。ほいくえんにもってくるひは、5がつ22にち（かようび）です。あさ おきてすぐ、おしっこや うんちをするまえに テープをはってください。

《文例6》

保育所では、学校保健安全法に準じて下記の病気については治癒証明が出るまで保育所を休んでいただいております。医師の治癒証明をけんこうカードに記入してもらってから登園してください。

医師の治癒証明が必要な病気

- | | | |
|--------------|------------------|-------------|
| ・麻しん（はしか） | ・水痘（水ぼうそう） | ・風しん（三日ばしか） |
| ・百日咳 | ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | ・インフルエンザ |
| ・咽頭結膜熱（プール熱） | ・流行性角結膜炎 | など |

《「やさしい日本語」文例》

つぎのびょうきのひとは、びょうきがなおるまで ほいくえんを やすんでください。ほうりつで きまっています。びょうきがなおったら 「けんこうカード」に、「治癒証明（ちゆ しょうめい）」を かいてほしいと、おいしゃさんに たのんでください。

おいしゃさんの 治癒証明（ちゆ しょうめい）が ひつような びょうき

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・はしか（麻疹） ・百日咳 ・プール熱（咽頭結膜熱） | <ul style="list-style-type: none"> ・みずぼうそう（水痘） ・おたふくかぜ（流行性耳下腺炎） ・流行性角結膜炎 など | <ul style="list-style-type: none"> ・ふうしん（三日ばしか） ・インフルエンザ |
|--|--|--|

《文例7》

保育所では、多くの子どもが集団生活をしています。中には、医学的理由により予防接種が受けられない子どもや、まだ予防接種ができない0歳の子どもも通所しています。また、送迎に来られる人が妊娠中のこともあります。

このようなことをご理解いただき、わが子のため、そして他の子どものためにも可能な限り予防接種を受けることをお勧めします。

一人ひとりが予防接種を受けていただくことが感染症の流行をふせぐことにつながりますので、ぜひご協力ください。

《「やさしい日本語」文例》

よぼうせっしゅを うけてください。

ほいくしょには、たくさんの こどもがいます。びょうきが ほかのひとにうつらないようにするために よぼうせっしゅを うけてください。

ほいくえんには、よぼうせっしゅを うけることができないこ、にんしんしているおかあさんもきます。びょうきがうつたら たいへんです。

《文例8》

当園の平常保育終了時間は午後6時となっており、午後6時より午後7時までの間は延長保育とし、希望される方みのみの保育とさせていただきます。つきましては、延長保育を希望される方は、申込書（園保管）に必要事項を記入の上、提出してください。

延長保育利用料は次のとおりです。月額〇〇〇円、日額〇〇円

※日額で希望される方につきましては、申込書にて申し込んでいただく必要はありませんが、利用される時は事前にご連絡いただきますようお願いいたします。お迎えのときに申込書への記入、料金の支払いをお願いいたします。

《「やさしい日本語」文例》

ほいくえんに ごご6じからごご7じまで まいにち こどもを あずけたいひとは、「延長保育（えんちょうほいく）申込書（もうしこみしょ）」を だしてください。延長保育は、1ヶ月〇〇〇円です。

ときどき あずけたいひとは、はやめに おしえてください。おむかえのとき、「延長保育（えんちょうほいく）申込書（もうしこみしょ）」を かいて、おかねを はらいます。おかねは、1日〇〇円です。

参加者の声から

●やさしい日本語の考え方になるほどと思いました。「日本語の感覚が、必ずしも外国の方に伝わるとは限らない。どのようにしたら伝わるかを常に意識することが大切だ」と思いました。結局、やさしい日本語は、誰にも分かりやすい文章につながっていくのだと考えることができました。



●以前、外国籍の子どもが保育所に来ていた時に、手紙を裏面か別用紙に、一生懸命ローマ字で書き直して渡していました。ローマ字で書き直しながら、「日本語をただローマ字に直しているだけで、お母さんには伝わらないのではないか」と思いながら…。今回のような研修がもっと早くに聞けていたら、お母さんにもっと分かりやすく伝えられていただろうと思いました。

●簡単な日本語にすることの難しさを感じました。しかし、実際に文章したり、会話文を考えたりして、簡単な日本語の作り方が少し分かりました。私の保育園では、外国人の保護者はいませんが、これからも外国人の保護者が来たとき、分かりやすく伝えたいと思いました。



●外国籍の保護者対応だけでなく、低年齢の子どもたちにも生かせるのが、やさしい日本語なのだと感じた。「子どもたちに分かりやすい言葉で話しかけることができるのか？」を考えさせられる内容だった。

●ペルー国籍の子を担当しています。日々の保育で、コミュニケーションの難しさを痛感しています。ジェスチャーをつけて頑張っているものの、伝わっているか!?!という不安も多いです。やさしい日本語を心がけて、笑顔で頑張りたいと思います。

●写真を見ながら、知らなかった外国の様子、保育園の実情を聞いて、日本との違いを知り勉強になりました。いつも忙しく働いているので、音楽を聴きながらの講座は、気分がゆ

ったりとして、とても良かったです。後半は、実践があり、分かりやすく、楽しかったです。

- 自分の働く保育園でも、外国籍の子が多く、子どもはもちろん保護者とも言葉の違いから、なかなか思うように伝えられなかったり、受けとめ方が異なったりということがあり悩んでいました。今日の講演を聴いて、文化が違うということを自分が理解することが大切だと思いました。今日学んだことを、早速自分の保育や保護者との接し方に生かしていこうと思います。



- 外国にルーツをもつ子どもたちが、母国に誇りを持てるように、保育を進めていきたいです。
笑顔で頑張ります (^ _ ^)